


3-6 情報提供と意識啓発に関する実践事例



取組の概要

川越市は、防犯のまちづくり推進事業の一環として、市の実情にあった防犯情報を市民に提供するサービスを開始した。

市民は、携帯電話などにより、いつでもどこでも防犯情報を知ることができる。

「小江戸川越防犯のまちづくり情報」メール配信サービス

27 埼玉県 川越市

キーワード

- ◆ 携帯電話で、いつでもどこでも防犯情報
- ◆ 防犯情報が市民を犯罪から守る

取組の方針と内容

◇ 携帯電話で、いつでもどこでも防犯情報

川越市防犯のまちづくり推進事業の一環として、市役所市民活動支援課へ寄せられた防犯対策、犯罪発生及び不審者出没などの情報を、あらかじめ登録した市民・事務所・関係団体の方々の携帯電話やパソコンへEメールで配信するサービスを行っている。携帯電話があれば、市民はいつでもどこでも防犯情報を取得できる（写真①）。

◇ 防犯情報が市民を犯罪から守る

提供される具体的な防犯情報は、川越市における

コメント

市民への詳細な防犯状況の提供は、防犯活動には必須である。犯罪発生状況は、警察の協力が必要となるが、不審者情報やパトロールからの情報の共有化などより、広範囲の情報収集・配信ネットが必要となっている。ただし、不審者情報などは人権に配慮するとともに、学校や幼稚園・保育所など情報を必要とする所に、適切に情報が配信されることが重要。

防犯のまちづくりに関する情報、埼玉県・埼玉県警察本部・川越警察署・教育委員会等の関係機関から寄せられた不審者（露出・痴漢・声かけなど）、強盗、ひったくり等の犯罪情報などである。

市民がこのような防犯情報を知ることによって、防犯環境設計の考え方の一つ、「対象物の強化」が図られる。市は、このような市独自の防犯情報が市民を犯罪から守ると考えている。



①

①携帯電話により、容易に犯罪情報を取得



取組の概要

越谷市の桜井青空自治会では、ここ数年間に空き巣被害が多発した。

そこで、空き巣を威嚇し、侵入を事前に阻止するために、ユニークなデザインの監視プレート（左写真）を製作し、自治会内に掲示した。

ユニークな「監視プレート」の設置による防犯活動

28 埼玉県 越谷市 桜井青空自治会

キーワード

- ◆ 空き巣への監視体制の確立
- ◆ 高齢化した自治会での防犯活動
- ◆ 子どもたちの登下校も監視

取組の方針と内容

◇ 空き巣への監視体制の確立

越谷市の桜井青空自治会では、ここ数年の間に25件もの空き巣被害が発生した。

この事態に対し、自治会会員が一致団結し、センサーライトの設置、扉の二重ロック、ガラス戸への防犯フィルムの設置、強化ガラスに交換など「自分の家は自分が守る」という防犯意識の高揚と対策を進めた。

さらに、不審者に対して『自治会全員が絶えず監視しているぞ!』という意志を示したユニークなデザインの監視プレートを製作し、自治会内のすべての道路の出入口、交差点、公園などに掲示した。

それ以降、空き巣被害は発生していない。

◇ 高齢化した自治会での防犯活動

同自治会では、自治会員の高齢化が進んでおり、パトロール隊の常備編成は人員の面で難しかった。そこで、継続できる取り組みとして、監視プレートの掲示を開始した。

◇ 子どもたちの登下校も監視

近くには小学校がある。この監視プレートは、子どもたちの登下校を見守ることにも、一役買っている（写真①）。



① 子どもたちの登下校も監視

①

コメント

防犯の掲示板やポスターは、屋外の掲示物としては洗練されておらず、実用的なものが多い。ロゴやキャラクターなど図案に工夫が望まれている。プロのデザイナーによる掲示板を作ったらよいのではないか。

米・英国の Neighborhood Watch には良いデザインの掲示板がある（写真1）。

※Neighborhood Watch（ネイバーフッド・ウォッチ）…地域住民が地区組織をつくり、相互に近隣の住宅に注意を払うことによって、犯罪を減少させようとする活動。



（写真1） 海外の掲示板の事例



取組の概要

三鷹市では、地域住民が自らまちの危険箇所を確認して地図を完成させる新しいタイプの地域安全マップを作成し、市民に配布している。地域安全マップは、出来上がった地図よりも、作成する過程が重要であると考えた。

住民自身が完成させる「地域安全マップ」

29 東京都 三鷹市

キーワード

- ◆ 15 種類の地域安全マップ
- ◆ 住民自らが地域を点検して地図を完成させる
- ◆ マップづくりで、子どもたちに防犯意識を植え付ける

取組の方針と内容

◇ 15 種類の地域安全マップ

三鷹市では、地域安全マップは出来上がった地図よりも、作成する過程が重要であるという考えのもと、地域住民が自らまちの危険箇所を確認して地図を完成させる新しいタイプの地域安全マップを作成した。この「三鷹市地域安全マップ」は、市内 15 小学校区ごと 15 種類あり、合計で 2 万枚印刷・配布された。この地域安全マップは、各小学校でのヒアリング調査、学童保育所、幼稚園、保育園へのアン

ケート調査と併せ、専門の調査員が地域を点検した結果に基づいて作成されている（図①）。

◇ 住民自らが地域を点検して地図を完成させる

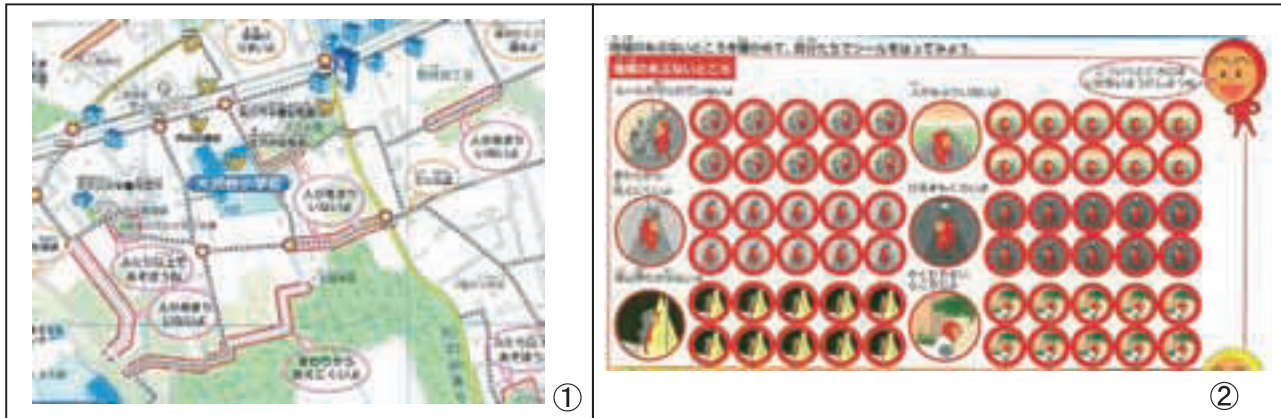
この地域安全マップを配布された住民は、地域の危ない箇所や、気をつけなければいけない箇所などを自分自身で確認し、地域安全マップシール（図②）を貼りマップを完成させる。自分たちで完成させることで、地域の安全を自分自身の問題としてとらえることができ、さらに地域のなわばり意識を強くすることにもつながる。

また、このマップの裏面では、「地域の危ないところ」と題して、ゴミのポイ捨て、落書き、放置自転車、路上駐車、荒れはてた空き家など、地域における秩序の大切さや、周りから見えにくい場所や明かりがなく暗い場所は犯罪が起きやすいことを伝えている（図③）。

◇ マップづくりで、子どもたちに防犯意識を植え付ける

子どもたちを犯罪者から守るためには、普段の生活の中で、子どもたちにも防犯意識を持たせることが必要である。そこで、子どもたちと一緒に、通学

路やいつも通る道、よく行く公園などの点検をして、この地域安全マップを作っていく。これにより、子ども自身にも防犯意識が植え付けられる。地域安全マップの作成を通して、子どもたちは「地域の危ないところ」を覚えていくことになる。



①

②



③

- ① 三鷹市安全マップ
- ② 地域安全マップシール
- ③ 地域の危ないところ（地域安全マップ裏面に掲載）

コメント

地域安全マップづくりは、その過程で「まちを見て」「危険な場所を発見し」「対策を議論」することから、防犯意識を高める上で有用な活動である。大人・こどもなど多数が参加し、地域を議論する機会を与えてくれる。手作りのものが多くて、他のグループの活用が困難、地図など道具の不足など問題もある。地図作りに終わらないことに注意しよう。



取組の概要

滋賀県は犯罪を行いにくいという印象を与え、犯罪を抑止しようという取り組みとして『特別警戒中』帯テープ（左写真）を製作した。

滋賀県内で犯罪率が最も高い草津市内をモデル地域として、この帯テープの設置を進めている。

『特別警戒中』帯テープによる犯罪抑止対策

30 滋賀県

キーワード

- ◆ 『特別警戒中』帯テープの効果は絶大
- ◆ 低コストですぐに取り組める防犯対策
- ◆ 滋賀県全体の取組として検討中

取組の方針と内容

◇ 『特別警戒中』帯テープの効果は絶大

『特別警戒中』帯テープの設置は、北海道警が数年前に取り組みを開始し、その後京都府警などでも実践されている。京都府警によると「帯テープを設置した場所での犯罪は起こっていない」とのことである。

◇ 低コストですぐに取り組める防犯対策

滋賀県草津市内は、乗物盗が多発し、早急な犯罪

抑止対策を求められていた。そこで、滋賀県はこの『特別警戒中』帯テープに着目した。帯テープを製作し、警察、市役所、地域住民と協働して、乗物盗が過去に発生したマンションなどを中心に設置した（写真②）。これにより、防犯環境設計の考え方の一つ、「領域性の強化」を図り、犯罪企図者に対し、この地域は監視されている、犯行を行いにくいとの印象を与えることができる。

この帯テープは幅6センチメートルのポリエチレン製であり、低コストで設置が容易である（図③）。

◇ 滋賀県全体の取組として検討中

モデル地域の犯罪認知件数を取り組みの前後で比較し、効果を検証する。滋賀県によると、有効であれば全県下的な取り組みとして推進するとのことである。

目的

防犯環境設計の基本原則の一つである『領域性の確保』の考え方を活用し、犯罪企図者に「この地域は監視されている。」
「この地域での犯罪は起こしにくい。」と思わせ、犯罪の未然防止を図る。

モデル地域で実施



犯罪認知件数を、前年同月止や前月比で比較し、効果を検証する。

有効であれば、全県下的な取り組みとして推進する。

北相模野警が数年前に取り組みを開始し、その後京都市警などでも実践されています。
京都市警によると「テープを設置した場所での犯罪は起こっていない」とのことです。

①

①『特別警戒中』帯テープの設置目的

②乗物盗が多発するマンションの駐車場に設置

③『特別警戒中』帯テープの仕様



②

帯テープ仕様

材質：ポリエチレン

サイズ：60mm×100m

色：黄色地に黒字

文字：ゴシック体



他府県の例(参考)

滋賀県は犯罪を絶対に許しません! **特別警戒中** 「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議

③

コメント

「すぐやれる」防犯対策として効果が期待できるものである。ただし、無造作にテープを貼りすぎると逆効果を生むかもしれない。人の監視などと併用すると良い。



取組の概要

荒川区では、より多くの区民が防犯について興味を持ってもらうためには、楽しみながら学べる機会が必要であると考えた。

そこで、荒川区と区内の各警察署が共催して、防犯寄席（左写真）を開催し、犯罪対策の普及啓発を行っている。

楽しみながら普及啓発「防犯寄席」の開催

31 東京都 荒川区

キーワード

- ◆ 楽しみながら普及啓発
- ◆ 寄席の後には夜間パトロールを実施
- ◆ 振り込め詐欺対策に効果あり

取組の方針と内容

◇ 楽しみながら普及啓発

荒川区では、区内の各警察署と連携を図り、楽しみながら区民の皆さんに防犯対策を普及啓発することを目的とした「防犯寄席」を開催している。区内の犯罪状況や防犯対策等についての講話に併せ、落語も鑑賞してもらうことで、より多くの区民の参加を促している。

◇ 寄席の後には夜間パトロールを実施

防犯寄席は夜に開催されることが多い。参加者は、公演後に夜間パトロールを行い、防犯灯や街路灯の点検や、危険箇所の把握といった活動も行っている。

◇ 振り込め詐欺対策に効果あり

最近、振り込め詐欺の手口は巧妙になってきており、痴漢や交通事故を装い、警察や弁護士になりすまして示談金を請求する事件が多発している。同区では、落語のまぐらに振り込め詐欺の話題を入れ、振り込め詐欺にも注意を促している（図①）。



① 「防犯寄席」のチラシ

コメント

自発的な活動が期待されるが、「楽しく」活動を行うことも重要な要素である。人形劇、紙芝居など様々な試みがある。ロールプレーによる芝居なども「まちづくり」活動では試みがなされている。